

組立説明図

JISQ1011:2009

工程名	管理項目	品質特性	管理方法及び検査方法
1. 配合	1' a) 細骨材の粗粒率 b) 粗骨材の粗粒率又は実積率 c) スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度 d) 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率) e) 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率) f) 計量配合の指示方法(必要な場合) g) 単位水量(高強度コンクリートの場合)	-	1''' ⁽¹⁾ 細骨材の粗粒度, 粗骨材の粗粒率又は実積率, スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度, 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 単位水量(高強度コンクリートの場合), 再生骨材Hとその他骨材を併用する場合の使用比率

注⁽¹⁾ 細骨材の粗粒率, 粗骨材の粗粒率又は実積率, スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度, 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 単位水量(高強度コンクリートの場合)の測定頻度並びに細骨材粗粒率, 骨材の表面水率及び単位水量の測定方法は次による。

1) 測定頻度

1.1) 細骨材の粗粒率 **1回以上/日**

1.2) 粗骨材の粗粒率又は実積率 **1回以上/週**

1.3) スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度

- スラッジ固形分率 **使用の都度**, スラッジ水濃度(通常, 密度から求める)とスラッジ計量値から固形分量を求めそれをはかり取ったセメント量で除して求める。

- スラッジ水の濃度

・バッチ濃度調整方式 **1回以上/日, かつ, 濃度調整の都度**

・連続濃度測定方式 **使用の都度**, 自動濃度計で測定

1.4) 細骨材の粗粒率(人工軽量骨材の場合は含水率)

2回以上/日<人工軽量骨材の場合には, 使用の都度, 高強度コンクリートの場合は始業前, 1回以上/午前, 1回以上/午後>

1.5) 粗骨材の粗粒率(人工軽量骨材の場合は含水率)

必要の都度<人工軽量骨材の場合には, 使用の都度. 再生骨材Hの表面水率は1回以上/使用日>

1.6) 単位水量 **1回以上/日(高強度コンクリートの場合)**

2) 細骨材の粗粒率の測定方法

細骨材の粗粒率の測定方法は, **JIS A 1102 又はこれに代わる合理的な方法**による。

3) 骨材の表面水率の測定方法

3.1) 細骨材の表面水率の測定方法は, **JIS A 1111, JIS A 1125, JIS A 1802, 又は連続測定が可能な簡易試験方法**による。

ただし, 再生細骨材Hの表面水率測定方法は, JIS A 1111 又はJIS A 1125 による。

3.2) 粗骨材の表面水率の測定方法は, **JIS A 1803 又はこれに代わる合理的な試験方法**による。

4) 単位水量の測定方法は, トラックアジテーター1台分のコンクリートの計量値と当該コンクリートに用いた骨材の実測表面水率(人工軽量骨材の場合は, 使用時の含水率)とによって算出するか又は合理的な試験方法による。